

論文審査委員 教授 高原 滋夫 教授 西田 勇 教授 水原 舜爾

- 181 -

以内に内耳液を採取し、直ちに測定した場合、電解質濃度の死後変化はほとんど認められなかった。

以上の結果について文献的に考察した。

論文審査の結果の要旨

本研究は内耳液Na・Kイオンの組成について研究したものであるが、とくに独自の採取、測定方法を考案し、内耳液Na・Kイオン濃度の正常値を確立し、1側耳、内耳液を5カ所より分割採取し位置的にNa・Kイオン濃度差があることを指摘したものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。